

BATJ Union News !

TOP会談による労使協議会が緊急開催！

6/12（木）BATJ本社でフレッド社長、西田HR本部長、飯岡BD本部長、柴寄HR担当とBATJ労働組合・執行三役5名で「希望退職募集」に関する組合方針の申入れ、並びに6/9提出「要求書」について協議致しました。

当日協議の主要事項は下記の通りとなります。

また協議詳細については別途『6/12協議事項報告書』をHP掲載予定としておりますので、御参照下さい。

記

《要求書より》

■2015年1月の組織改編に向けた希望退職の募集に対して、組合は『反対』を表明。

〔協議事項〕

1. 雇用に係る重要事案について組合に対して事前説明/協議を諮る事なく、推進させる会社の取組姿勢は労使信義に反する不誠実な行為であり、抗議申入れによる謝罪と今後の改善策協議を要求する（6月2日、書面にて要求済み）。

（会社回答）

従業員に対して不要なストレス・混乱を避ける、全員に公平なメッセージが伝わる為にコミュニケーションはしっかりと統制する必要があった事から労働組合も直前の情報開示となった。組合執行部に対してフラストレーションや不快感を与えてしまった事について遺憾の意を表します。会社は労使関係を重要視しており、今後も労使間の協力体制をとっていきたいと考えています。

【合意事項】

- ・労組に対する配慮不足についてフレッド社長の見解を書面で回答する。
- ・労働協約の条文付記（見直し）について協議を諮る。

2. 人員削減を伴う合理化施策について、財務指標に基づく合理的な論説と妥当性の協議を要求する。

（会社回答）※財務諸表にて数値開示あり。

3年前から100以上のコスト削減施策（マーケティング活動費用・プロジェクト費用の適正化、経費使用基準の見直し、製造コストの最適化等々）に取組み、3年間で70億円のコスト削減を実現させた。しかしながら、一昨年からの急速な円安は想定外事態であり、2014年で30億円減益、2015年で50億円減益が避けら

れない見通しである。企業が果たすべき役割としては 4 つの責務(消費者への責務・政府への責務・株主への責務・従業員への責務)があり、継続的な雇用責任を果たすためには多様なバランスを保持すると共に経営が健全でなければならないと考えている。現状に対してこのまま何もしなければ来年以降に大幅な整理解雇を実施しなければならない可能性が高く、長期的により多くの雇用を確保する為に希望退職募集は必要な変革である事を理解して頂きたい。

【合意事項】

- ・財務諸表に基づく合理性・妥当性は理解できた。(資料開示は機密性から受渡不可)
- ・臨時大会の員意見/要望事項に関してはJLT検討とする事をフレッド社長が表明。
(臨時大会の意見/要望事項は 6/12 会社に書面申入れ済み)

3. 『退職勧奨』は『希望退職募集』と異なり、本人の意思に反した取組みとなる事から『退職勧奨』を反対するものであり、『退職勧奨』断念・中止を申入れすると共に次の行為の禁止を要求する。

- (ア) 希望退職募集期間中は、ラインにおける対象者との個別面談の禁止。
- (イ) 希望退職対象者へのパワーハラスメント等による退職強要の禁止。

(会社回答)

- (ア)、(イ)一切行わない。仮に該当事案があった場合は速やかに報告して下さい。
- (ウ)会社としても勧奨はできる限り、見送りとしたい。しかしながら応募数未達の場合には実施は避けられないと考えている。但し、退職強要はしないし、させない。

【合意事項】

- ・上記内容についてはラインコミュニケーションで周知徹底する。
- ・本件に関しては 6/末に再度、労使協議の場を設ける。

4. 次年度の新組織に於ける懸案事項については、継続的な労使協議を通じて改善策を要求する。

(会社回答)

現状、隔月開催の労使協議会を変更して月例開催(毎月実施)に合意する。

【合意事項】

- ・残留する組合員(従業員)に対する情報発信の検討
- ・今後に関する諸問題協議
- ・緊急案件に対する協議会以外での報・連・相

以上